

2021年3月26日

中山観光自動車株式会社 安全統括管理者

2020年度 運輸安全マネジメントに関する取り組み目標についての成果と評価

基本方針

輸送の安全の確保が最も重要であること経営者及び全従業員が認識し、法令遵守のもと輸送の安全性の向上に努めます。

- [1] 運輸安全マネジメントを継続し、社内共有実行を推進し輸送の安全の確保を取り組めます。(継続)
- ・前期乗務員への教育体制・指導機会・情報共有は確保できたが、出来なかった運輸安全マネジメント委員会メンバーの役割分担を明確にし、また計画を遂行しその結果をメンバー共有できる場を増やしていきたい。(年6回)(継続)
 - 感染症蔓延による機会喪失という理由があるものの、乗務員への教育指導情報共有で出来たと思うが、引き続き委員会の役割分担とその進行及び計画成果を明確にしていきたい。メンバー自身の意識向上と年度初めに具体的な期日目標数値も含めた委員会運営計画表の作成が必要。
- [2] 安全管理・運行管理体制を再構築し、安全に対しての継続的改善を実施していきます。(継続)
- ・ドライブレコーダー映像を利用した乗務員教育の内容に更なる活かすため、ヒアリアット案件の情報収集をやすくするための業務の仕方を構築し、その情報を共有していきたい。
 - ドライブレコーダー映像を活かすための、画像習得スキルとその活かす機会は構築できたが、明らかな案件がないと習得できていない。乗務員からリアルに情報を引き出すしくみの構築が急務。運行管理者(点呼者)側の乗務員から情報を引き出すという意識向上が必要。
 - ・軽微な事故及びクレーム等が発生した際、その抑止のために事案社内共有できる仕組みを構築する。乗務員標準化マニュアルを徹底させる。(継続)
 - 社内情報共有できる仕組みは点呼時及び掲示等でスピーディーになったが、そのものの抑止の為に乗務員教育を再徹底が必要。乗務員標準化マニュアルを改訂すべき。
- [3] 輸送の安全に関する設備投資を増やします。(継続)
- ・最新の性能を有したドライブレコーダー・デジタルタコグラフを導入します。ドライブレコーダー用バックカメラを追加導入し、さらなる安全対策を行います。
 - 新車車両3台にバックカメラを導入出来た。既存車両にも順次拡充していきたい。但し、設備投資できる環境になるまで時間が要しそう。
 - ・乗務員・運行管理スタッフの貸与携帯電話をスマートフォンに変更し、安全情報

を発信する体制を施したい。

→全乗務員・運行管理者の貸与携帯電話をスマートフォンに変更したが、引き続きリアルな情報発信が必要。

〔4〕 安全管理体制の構築のための、教育訓練を引き続き継続します。

・運行管理者一般講習を有資格者に1年に1度受講させます。また乗務員にも運行管理資格の受験を促進します。その上で安全運行達成に向けての運行管理を相互確認していきたい。

→運行管理資格取得者に一般講習を1年に1回受講を継続出来た。また乗務員も計2名の運行管理者主格を取得することが出来た。運行管理者資格を取得する意義とその取得方法を明文化していきたい。

・「救急救命講習・災害時講習・雪道講習・未熟乗務員の外部機関（中央研修所等）での研修講習・運行管理者外部セミナー講習」等運行管理者・乗務員共に積極的な講習に参加します。特に外部機関での研修講習と充実したい。

→感染症蔓延による機会喪失の為、各種講習が不実施であった。状況にもよるが、次年度には積極的に受講させていきたい。

・年間教育スケジュールを明確にしたので、その予定に従って実施していきたい。

→感染症蔓延による機会喪失の為、計画通りに遂行できなかった。全体が集まれないくても、情報共有できる仕組みを構築したい。

〔5〕 健康管理の取り組みを推進します。（継続）

・2020年度再度「脳ドック検診」を受診させ、継続した施設での健康診断により、継続的な健康管理に努めます。

→「脳ドック検診」「インフルエンザ予防接種」を継続的に受信し、健康管理に努められた。引き続きメンタルケアと2021年度「SAS検診」を受診させ健康管理維持に努めたい。

・新型コロナウイルス感染防止対策を充実し、感染症対策を万全にしていきたい。

→引き続きガイドライン及び各種指導にしたがって、感染症対策を万全し、正常な運行が出来るようにしていきたい。

輸送の安全に関する目標（2020年度）

	目 標	結 果
重大事故件数	0件	0件
有責事故発生件数	5件	7件
アルコール検知事案	0件	2件

以上